

石下駅中沼線の延伸と役場跡地周辺の整備について

吉原 光夫 議員

質問

昨年11月に石下橋が開通し、その結果交通の流れも良くなった。しかしながら、関連する駅通りの道路整備に関して進展がないのが現状である。引き続きこの事業を再開してほしいというのが地元の切実なる願いである。県の事業ではあるが、市として県にどういった働きかけを行っているのか、実際の進捗状況はどうなっているのか聞きたい。

また、今後は県の事業として石下駅まで道路整備を進めていくと思うが、石下駅まで道路が整備されても、そこまで行き止まりというのがある。これまでの計画であり、橋ができて宝の持ち腐れになってしまうのではないかとこの意見が多く、地元の市街地は、東西に関東鉄道によって分断されている。東西を結ぶ幹線道路としては、南北に2本の道路があるが、中心部には東西を結ぶ幹線道路がない。石下駅の東側には、区画整理によって立派な道路ができていて、石下駅から先は市の事業として、駅東の道路と接続することが、石下中心市街地の発展に大きく寄与するのでは

ないかと考える。

これに関連し、役場跡地は周辺の土地などを含めると約1ヘクタールほどの面積があり、すばらしい可能性を秘めた場所だと思う。利用法の一つの例として、常には駅前広場として利用しながら、買い物難民と言われる徒歩や自転車では買い物が行けない方たちが気軽に買い物に行けるようなミニ商店街を設置したり、多目的イベント広場など多種多様な利用方法が可能だと思ふ。役場跡地を含めた周辺の整備について、執行部の考え方を聞きたい。

答弁(都市建設部長)

石下駅中沼線の延伸と石下駅周辺の整備については、市民参加型の検討協議会を立ち上げる準備をしている。検討協議会の中で意見を集約し、実効性のあるプランとしていきたい。石下駅中沼線の整備については、今後も県との連携を図っていく。

再質問

県のほうにいろいろ働きかけをしているとのことだが、具体的な内容を聞きたい。

検討協議会を設置する場合には、地元、議員を交えてもらえるようお願いしたい。

市長も変わったので、新市長としての意見もお願いしたい。

再答弁(都市建設部長)

県としては市の方向性を早く結論付けていくのが大事であり、良く議論をしてまちづくりをどうするか整理してほしい。市はこのような話し合いを県としている。

検討協議会の人選については、今後良く連絡調整しながら人選していく。

再答弁(市長)

石下駅周辺のまちづくり事業には、県と連携を取りなが

当市における地域活性化の取り組みについて

遠藤 章江 議員

質問

常総市観光物産協会のホームページに観光物産事業にはあまり関係のない建設業界の2社が掲載されている。他県ではほとんどないように思う。

また、マスコットキャラクター千姫ちゃまというコーナーもある。千姫さまのキャラクターは、以前市民から公募して決定したものが存在するはずである。

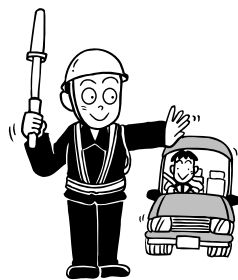
まず、常総市観光物産協会とは何名の会員が存在し、どのような活動をする団体なのか。

次に、どの県、市でもマス

ら、積極的に力を入れていきたい。役場跡地と一体を持って事業を進めていきたい。

再々質問

みんなが望んでいる事業であるので、どんどん進めてやっていただきたい。



コットを作製、決定する場合、公募によって募集するのが通例であると思うが、その経緯について答弁いただきたい。

再質問

また、常総きぬ川花火大会が成功裏に終了したが、この大会で常総市の存在を広く発信できないか提案する。新潟県長岡市の花火ではすばらしい企画があった。常総市も花火で関東一有名なまちにすることができればと思う。にぎわい再生事業の場所を利用して、県外からも多くの観光客を招く努力をしたらどうか。これは私の考えであるが、今後観光客を呼び込むための新

再答弁(産業労働部長)

観光物産協会は、市の観光事業の発展と地域産業経済の振興を目指しており、趣旨に賛同する81社の法人と60名の個人会員で構成されている。千姫ちゃまは、千姫さまゆかりの地からキャラクターを招く企画があり、制作することになった。

花火大会の提案は事務局である商工会に伝えたい。

再々質問

市街地にぎわい再生事業の空間を生かす一つの方法として、大型バスの駐車など、今後積極的に取り入れたい。